

再生可能エネルギーの地産地消及び産業競争力強化の両立に向けた地方自治体と産業をつなぐハブとしての取組

トヨタ自動車東日本 (TMEJ)

2012年に東北の震災復興への永続的な貢献を目的に設立。東北の自動車産業全体のCN化を目指す。

東北自動車産業グリーン
エネルギー普及協会 (TAGA)

2022年に東北の自動車産業に東北の再エネ電力を供給することを目的にTMEJが設立。地方自治体も参画。

岩手県企業局

運営する水力、風力などによる再エネ電力の供給先を選定する際、地産地消と地域貢献を評価。

TAGAをハブに、自治体と自動車産業を結ぶ地域共生モデルを構築

再エネ電力の地産地消

～地域と連携した再エネの活用～

岩手県企業局と協働・連携し、2024年4月から地域の再エネ電力を岩手県内の自動車産業に供給を開始。以降、東北各地域の発電事業者とも連携し、東北の自動車産業へ電力供給を拡大。

再エネ電力の地産地消と自動車産業のCN化を推進。

地域産業の競争力強化

～自動車産業のCN化促進～

サプライヤー各社が太陽光パネルを設置。TAGAによる企業間の余剰電力の融通・調整により、再エネ電力の効率的運用と脱炭素化を促進。

自社のみではCNが進まない企業の省エネ改善をTMEJが支援。活動を通じてコスト削減を実感してもらい、自動車産業全体のCN化実現に向けた意識を向上。

